

きめこみ
押絵木目込サークル
代表 栗田 敬子さん 会員 5名



押絵 木目込サークルは、教育委員会が主催した押絵木目込の講習会に参加した人たちが、終了後講師の坂本キミエさんを中心に同好会を結成し、その後昭和61年11月にサークルとして活動を始めた。

押絵は、厚紙を花鳥・人物などの形に切抜き、綿をのせ

て美しい布で包み、物に貼り合わせた細工で、羽子板、壁掛けなどに用います。一方木目込は、人形の胴体の木地に筋彫りを入れ、布を木目込んでいくので木目込と言われている、どちらも日本の伝統工芸のひとつです。

同サークルでは、こういった技法を学びながら、日本人形や12支を題材にした人形などを作っています。

会員の皆さんは「手間がかり、作るのが大変ですが、制作した作品を皆さんに喜んでもらえるのがやりがいになっています」と押絵や木目込の魅力を話します。

活動は、月2回、第2、第3火曜日の13時～16時まで虻田ふれ合いセンターで行っています。

最近では、木目込キットを使って、縫うのが苦手な人でも簡単にできるパッチワークなども行っているのだ、「若い人にも参加してほしい」と栗田代表が話します。

興味関心がある方は、代表の栗田敬子さん（☎76-3303）まで連絡ください。

今月のワンショット

給食で提供された地元産小麦100%使用したジョウどん
あつあつうどんに大満足！とうや小学校の1年生

人口と世帯の動き 9月30日現在 (先月比)

男	4,340 人 (△2)
女	5,061 人 (+2)
計	9,401 人 (±0)
世帯	5,039 世帯 (△2)

広告